



創作音楽舞踊劇

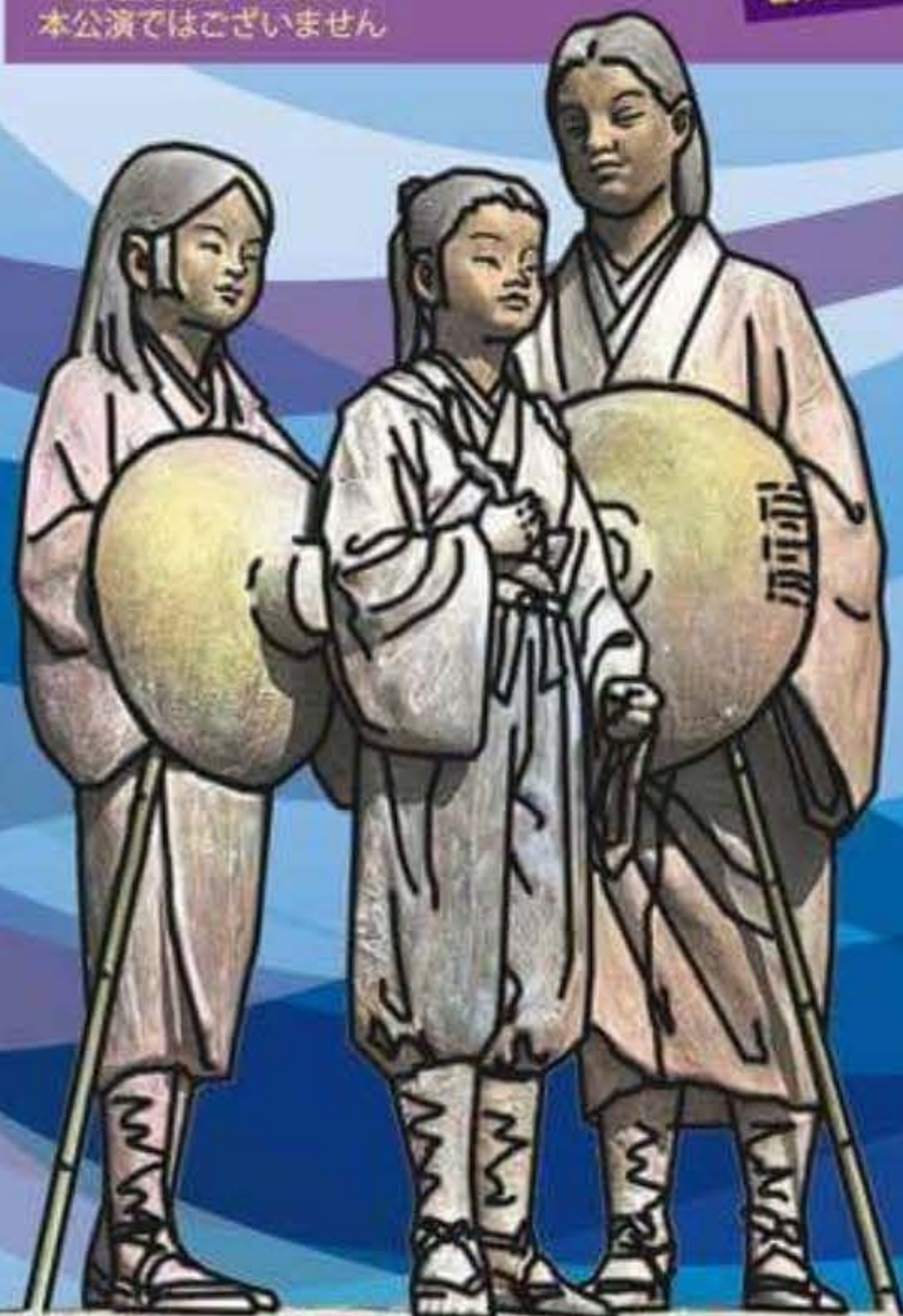
安寿と厨子王物語

上演に向けての **work in progress**

ワークインプログレス

制作の過程を公開

※経過発表会のため、
本公演ではございません



地域の埋もれた資源を後世に

「安寿と厨子王伝説」

京都府北部には全日本クラスの物語があるのに意外と知られていない。この眠れる伝説にもっと光を…と、物語を発掘していた和太鼓ユニット「ひとつ」が創作音楽舞踊劇「安寿と厨子王物語～悲しき親子の旅～」を制作することとなりました。そして2017年9月3日(日)京都府中丹文化会館大ホールで自主公演が決定。それに先立ち、来る3月20日(月・祝)に、中間発表会(ワークインプログレス)を京都府福知山市夜久野町にある夜久野ふれあいプラザ文化ホールにて開催いたします。実際今出来ている物語の途中までを地域の皆さんに観て頂き、ご意見などを伺い、互いに学び、より地域に根ざした舞台となるよう「舞台の骨格」を作る場に、ご協力をお願いします。

平成29年3月20日(月・祝)

開場 13:00 開始 13:30 **入場無料**

夜久野ふれあいプラザ文化ホール
京都府福知山市夜久野町額田(夜久野町下町)19-2

出演者



和太鼓ユニット「ひとつ」



太鼓芸能集団「鼓童」
名誉団員 小島千絵子



横笛 比江崎さとる



チーム福知山有志

◆安寿姫塚 活動報告
岩見享

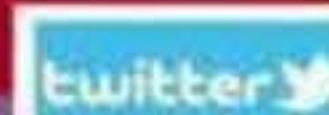


特別ゲスト

越後習女唄 荻森直子氏 演目:祭文松坂「山椒太夫」

お問い合わせ 和太鼓ユニット「ひとつ」 代表 霜澤真
Email: oke015@yahoo.co.jp
TEL 090-2018-7331

衣装協力: 飯森よしえ
音響照明: 舞台照明 CREW・SOLOOK



主催 | 和太鼓ユニット「ひとつ」

後援 | 京都府 福知山市 福知山市観光協会 株式会社夜久野太鼓楽器店
公益社団法人福知山市文化協会 株式会社ソリツ

出演者紹介

チーム福知山



〈メンバー〉
 芦田照美・飯田浩正・石井奈緒美
 井口ひま・尾松明子・景田美保子
 加藤理香・金井和枝・鎌田誠
 小西智之・四方裕美・杉浦寛江
 谷口道子・縄三四郎

演出：霜澤真
 演出アドバイザー：小島千絵子・
 舞台監督：遊里道真吾

チーム福知山とは…
 2015年5月27日に、京都府福知山市北陵地域にて、天災が続く福知山を元気に！と、太鼓芸能集団「鼓童」名誉団員・小島千絵子氏と鼓童文化財団の宮崎正美氏を迎え2泊3日の和太鼓WS(ワークショップ)を開催した。

その際、全国各地より男女合わせて約25名の参加者が受講し、和太鼓の打法について学んだ。
 集まった参加者は、楽しい事が大好き！日本の伝統文化が大好き！もちろん和太鼓も大好き！という方々で、すぐに意気投合し楽しい時間を共有することが出来た。

その後、この日限りで終わるのは勿体無い！という声上がり、WSが終わった今でもどこかで会えば参加者たちはチーム福知山と呼び合っている。

これまで、チーム福知山として「中丹絆フェスタ」「やくの高原まつり」などに参加し、WSで出会った縁を今でも大切に演奏活動も行っている。

2017年9月には、和太鼓ユニット「ひとつ」主催の舞台「安寿と厨子王物語～悲しき親子の旅～」に、チーム福知山も有志で賛助出演する。



撮影：宮川舞子

小島 千絵子

太鼓芸能集団「鼓童」名誉団員
 栃木県出身。

1976年「佐渡の国鬼太鼓座」に入座、「鼓童」創設メンバー。

太鼓中心の舞台の中で、独自の舞踊の世界を切り拓くと共に、女性ユニット「花結」や、ソロパフォーマンス「ゆきあひ」などで意欲的に表現の場を拡げて来た。

2006年坂東玉三郎演出「アマテラス」ではアメノウズメを演じ鮮烈な印象を残し、2012年度文化庁文化交流使として、ヨーロッパ4カ所を訪問。

女性の踊り手として太鼓に向き合った代表演目「花八丈」をモチーフにした千絵子流女打ち講座では、受講者に小さな革命を起こしつつ、各地で活動中。



和太鼓ユニット「ひとつ」

京都府福知山市を拠点に、関西を中心に個性溢れる男女4人で活動する和太鼓ユニット。他ジャンルとのコラボはもちろん、プロ和太鼓奏者との共演、地元福知山での自主公演の開催などを行い、和太鼓文化を広める活動に力を入れている。

東日本大震災発生後、福知山市内外の太鼓団体に呼び掛け3年連続でのチャリティコンサートなども開催。

平成26年5月29日には、読売テレビ「かんさい情報ネットten」に、代表の霜澤が番組内で取り上げられ、和太鼓ユニット「ひとつ」も出演。

今まであるようでなかった和太鼓ユニットを目指し、観客と打ち手がひとつになり、ひとつの音楽を造り上げていける舞台を日々追求中。

最新情報をご覧頂くなら公式Facebookページ・Twitter・LINEも行っておりますので「和太鼓ユニットひとつ」で検索。



比江嶋 さとる

京都府出身。

2006年、和太鼓・篠笛と出会い、2011年より本格的に活動を開始する。篠笛立平主催篠笛コンテスト2015で第1位を獲得し、篠笛フェスタ2015にゲスト出演。篠笛フェスタ2016に出演。

現在は、和太鼓奏者Memeとともに「The fluids(ザ フルーズ)」という音楽ユニットを結成し、若い世代にも親しみやすい和太鼓音楽を追求している。

指導は、2012年より複数のアマチュア和太鼓グループにて演奏指導や笛方の養成講師を、2015年より株式会社太鼓センターで篠笛講師を務める。

京都を中心に大阪・兵庫・和歌山等で活動を広げている。篠笛を小泉なおみ氏に師事。

比江嶋 さとるさんのブログ「Satoru's ordinary...」
<http://ameblo.jp/olive-satoru-fue-taiko/>



萱森 直子

かやもり なおこ

NHK、毎日新聞など、各メディアにも紹介
 1958年 新潟市生まれ

「最後の替女(ごぜ)」とよばれ「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」保持者として国から認定された長岡替女。故小林ハル氏(2005年105歳で死去)に師事。小林ハルの伝えた3種類の節回しで祭文松坂を唄い分けすることができる唯一の歌い手であるなど、広範な演目を伝承。

師のすすめにより高田替女、故杉本シズ氏を通して高田系替女も習得。長岡、高田、両系統の替女唄を直接伝授を受けた唯一の伝承者でもある。

現代の解釈や聴取者の感覚で手を加えることをせず

「まさしく本物の替女唄の発声」「荒々しく剛直、今に伝わる最も替女唄らしい替女唄」「かつての替女の芸を風土や精神性とともに再現できる唯一の歌い手」など、高い評価を得る。生活に密着した場での演奏から他県芸術祭まで、全国各地で多数公演。教職経験を主とし、新潟市内の保育園で園児たちと唄う活動にとりくむなど、替女唄をめぐる環境づくりや後進の育成にもつとめ、すでに公演をおこなえる弟子も育っている。

プライベートレーベルCD集の制作・販売を開始、ひき続き制作中(現在NO.12まで)
 師との日々を綴った独自の解説が「他では知ることのできない本来の替女唄の姿」と好評。

替女(ごぜ)は、「官御前(めくらごぜん)」という歌称に由来する。北陸地方などを転々としながら三味線、ときには胡弓を弾き唄い、門付巡業を主として生業とした旅芸人である。



代表 霜澤真
 石原靖之・井口文宏・夜久早百合